

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究審査委員会
議事概要

開催日時：2024年5月23日（木） 16:20～17:05

開催場所：臨床研究センター4階 カンファレンスルーム（ハイブリッド形式）

委員出欠：*外部委員（TV会議出席）

出席 9名	小林麗(委員長)、平野隆司(副委員長)、佐藤智太郎、 片岡政人*(会場出席)、松尾恵太郎*(会場出席)、鋤塚八千代*、 串田正克*、石田勢津子*(会場出席)、森川ゆず* (医学/医療6名、法律・生命倫理1名、一般の立場2名)
欠席 2名	後藤もゆる*、秦融*

I. 研究の審査

委員長より出席委員について、審査研究課題の当事者及びCOI確認を行い、臨床研究法の委員会成立要件を満たしていることを確認し、以下の研究課題（疾病等報告8件/8報、変更審査6件、定期報告5件）についての審査、実施計画事項軽微変更（10件）についての報告を行った。

1. 疾病等報告（8件/8報告）

疾病等1									
整理番号	C2020-004								
研究課題名	t(8;21)および inv(16)陽性 AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性に関する臨床第II相試験（JALSG-CBF-AML220 study）								
研究代表/責任医師	金沢大学附属病院 宮本 敏浩								
疾病等報告受付	2024年4月26日								
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし								
質疑応答者	なし								
審査	大腸菌性敗血症（第1報；既知事象、因果関係あり、転帰：回復）について審議され、地固め療法2コース実施後に敗血症性ショックとなり、血液培養から大腸菌が検出された事象で、腸炎によることが疑われ、治療により臓器障害を残すことなく回復。シタラビン投与が関与することより因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。								
結論	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">判定理由等</td> <td>承認</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全員一致</td> <td><input type="checkbox"/> 他（ ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	判定理由等	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他（ ）		—		
判定理由等	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他（ ）						
	—								

疾病等2									
整理番号	C2020-004								
研究課題名	t(8;21)および inv(16)陽性 AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性に関する臨床第II相試験（JALSG-CBF-AML220 study）								
研究代表/責任医師	金沢大学附属病院 宮本 敏浩								
疾病等報告受付	2024年5月7日								
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし								
質疑応答者	なし								
審査	発熱性好中球減少症（第1報；既知事象、因果関係あり、転帰：回復）について審議され、地固め療法2コース実施後に好中球数ゼロで発熱を認めた事象で、直後に敗血症性ショック・大腸菌性敗血症の発現、各治療により解熱し好中球数も増加し臓器障害を残すことなく回復。シタラビン投与が関与することより因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。								
結論	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">判定理由等</td> <td>承認</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全員一致</td> <td><input type="checkbox"/> 他（ ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	判定理由等	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他（ ）		—		
判定理由等	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他（ ）						
	—								

疾病等 3	
整理番号	C2020-011
研究課題名	小児急性骨髄性白血病を対象とした微小残存病変を用いた層別化治療、および非低リスク群に対する寛解導入後治療におけるゲムツズマブオゾガマイシン追加の有効性および安全性を検討するランダム化比較第 III 相試験 (JPLSG-AML-20)
研究代表/責任医師	国立成育医療研究センター 小児がんセンター 富澤 大輔
疾病等報告受付	2024年4月16日
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし
質疑応答者	なし
審査	急性呼吸窮迫症候群 (第 1 報 ; 既知事象、因果関係あり、転帰 : 回復) について審議され、G0 非介入群で強化療法-1 実施後、顆粒球減少傾向、発熱性好中球減少症発現、血液培養で Streptococcus・Bacillus 検出、呼吸苦・SpO2 低下、肺野透過性低下を認めた事象で、酸素化、抗生剤・PSL 等治療にて回復。シタラビン・ミトキサントロン投与の関与が考えられることから因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。
結論	判定 承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 () 理由等 -

疾病等 4	
整理番号	C2020-012
研究課題名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)
研究代表/責任医師	埼玉県立小児医療センター 康 勝好
疾病等報告受付	2024年5月9日
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし
質疑応答者	なし
審査	細菌性髄膜炎 (第 2 報 ; 既知事象、因果関係あり、転帰 : 後遺症あり) について審議され、再寛解導入療法 II A day26 までで試験治療中断し血球貪食症候群 (HLH) の治療に移行、難治性出血性十二指腸潰瘍合併で消化管出血コントロール難渋、HLH が寛解傾向時に高熱を認めた事象で、ICU 管理、Rothia mucilaginosa が起炎菌と同定、人工呼吸管理、試験治療以外の要因に HLH 合併で VP-16、CSA、DEX 投与及び難治性出血性十二指腸潰瘍の内視鏡的止血処置や血管塞栓の複数回実施の影響が考えられる。その後の経過にて、脳幹反射消失のまま意識回復は見込めず、転帰を後遺症ありとし、因果関係ありの判定に変更なしとの最終報告において、当該臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。
結論	判定 承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 () 理由等 -

疾病等 5	
整理番号	C2020-013
研究課題名	小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)
研究代表/責任医師	宮城県立こども病院 佐藤 篤
疾病等報告受付	2024年5月7日
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし
質疑応答者	なし
審査	敗血症 (第 1 報 ; 既知事象、因果関係あり、転帰 : 死亡) について審議され、高リスク群で HR3 強化療法開始 2 週後に発熱、好中球数ゼロ、shock vital となった事象で、左大葉性肺炎を認め酸素化維持、翌日、酸素化悪化にて人工呼吸管理、徐々に血圧低下し心停止にて死亡。発熱時の血液培養から多剤耐性緑膿菌検出、因果関係ありの判定について報告。多剤耐性緑膿菌によ

	る敗血症での急変が考えられるが、臨床研究の継続においては、警鐘事例として参加機関に報告し、慎重に進めるよう周知することとされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

疾病等 6			
整理番号	C2020-004		
研究課題名	t(8;21)および inv(16)陽性 AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性に関する臨床第 II 相試験 (JALSG-CBF-AML220)		
研究代表/責任医師	金沢大学附属病院 宮本 敏浩		
疾病等報告受付	2024年5月14日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	細菌性肺炎、詳細不明 (第1報; 既知事象、因果関係あり、転帰: 未回復) について審議され、地固め療法 3 コース実施の発熱性好中球減少症発症後に、胸部 CT で粒状影・網状影を認め、血液培養にて Streptococcus species が検出された事象で、ICU 管理、人工呼吸管理、GO・シタラビン投与が関与すると考えられることから因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

疾病等 7			
整理番号	C2020-012		
研究課題名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法が多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)		
研究代表/責任医師	埼玉県立小児医療センター 康 勝好		
疾病等報告受付	2024年5月18日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	発熱性好中球減少症 (第1報; 既知事象、因果関係あり、転帰: 軽快) について審議され、強化療法 (HR3) 実施後、骨髄抑制、高アンモニア血症、水様下痢、頻脈が発現し、発熱を認めた事象で、敗血症性ショックに至るが処置にて直ぐに離脱、試験治療中断、治療にて転帰軽快、血液培養で E. coli 検出により下痢が契機でシタラビン・エトポシド・L-Asp・ラクツロース投与の関与が考えられることから因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

疾病等 8			
整理番号	C2020-012		
研究課題名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法が多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)		
研究代表/責任医師	埼玉県立小児医療センター 康 勝好		
疾病等報告受付	2024年5月18日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	急性腎不全 (第1報; 既知事象、因果関係あり、転帰: 未回復) について審議され、LR 群にて先行治療後の寛解導入療法前に水腎症・尿路結石を認め、保存的軽快の状態で寛解導入療法実施、実施中に両側尿路結石、Cr 上昇、高 K 血症を認めた事象で、尿管ステント留置目的で転院、先行治療の PSL が疑われることから因果関係ありの判定の報告において、臨床研究の継続		

	については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

2. 変更審査 (6 件)

変更 1			
整理番号	C2018-010		
研究課題名	小児および若年成人のEBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症に対するリスク別多施設共同第 II 相臨床試験 (JPLSG-EBV-HLH-15)		
研究代表/責任医師	信州大学医学部附属病院 坂本 謙一		
変更審査受付	2024年5月1日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	施設削除(2)・研究代表医師の所属等・施設情報・責任医師等の変更に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、アセント文書、利益相反管理基準、研究分担医師リスト(2施設)及び利益相反管理計画(2施設)、並びにモニタリンに関する手順書、疾病等が発生した場合の対応に関する手順書の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等		

変更 2			
整理番号	C2018-017		
研究課題名	International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010 A randomized Phase III Study Conducted by the Resistant Disease Committee of the International BFM Study Group <IntReALL SR 2010> 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第 III 相国際共同臨床研究 (IntReALL SR 2010)		
研究代表/責任医師	三重大学医学部附属病院 豊田 秀実		
変更審査受付	2024年4月18日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	分担医師の変更等に伴う研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等		

変更 3			
整理番号	C2018-019		
研究課題名	小児の再発・難治性未分化大細胞リンパ腫に対する骨髄非破壊的前処置を用いた同種造血幹細胞移植の有効性と安全性を評価する多施設共同非盲検無対照試験 (JPLSG-ALCL-RIC18)		
研究代表/責任医師	産業医科大学病院 深野 玲司		
変更審査受付	2024年5月21日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	研究代表医師の所属等・施設情報・責任医師等の変更、研究資金追加、後発医薬品追加及び関係企業等追加・変更等に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、利益相反管理基準、研究分担医師リスト(2施設)及び利益相反管理計画(2施設)、並びにモニタリンに関する手順書、疾病等が発生した場合の対応に関する手順書の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		

結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等			

変更 4				
整理番号		C2018-020		
研究課題名		再発・治療抵抗性リンパ芽球性リンパ腫 StageⅢ/Ⅳに対する DexICE 治療の有効性及び安全性を検証する多施設共同第Ⅱ相臨床試験 (ALB-R13)		
研究代表/責任医師		山形大学病院 三井 哲夫		
変更審査受付		2024年5月2日		
審査参加状況		(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者		なし		
審査	施設削除(11)・施設情報・責任医師等の変更、研究資金追加、後発医薬品追加及び関係企業等追加・変更等に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画等の変更について審議され、当該変更について特に問題はないが、研究計画書に記載の病理委員会委員 2 名の所属が最新であるか確認することとされ、委員会は全員一致で承認と判定した。			
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等			

変更 5				
整理番号		C2018-024		
研究課題名		Asia-wide, multicenter open-label, phase II non-randomised study involving children with Down syndrome under 21 year-old with newly diagnosed, treatment naive acute lymphoblastic leukemia アジア広域における 21 歳未満のダウン症候群小児患者の未治療の急性リンパ性白血病についての多施設共同非盲検非無作為化第二相試験 (DS-ALL 2016)		
研究代表/責任医師		鹿児島大学病院 岡本 康裕		
変更審査受付		2024年4月17日		
審査参加状況		(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者		なし		
審査	施設情報・責任医師等・実施期間・関係企業等の変更等に伴う実施計画の変更、誤記修正に伴う研究計画書(和訳版)の変更、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。			
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等			

変更 6				
整理番号		C2021-004		
研究課題名		再発難治 CD19 陽性 B 細胞性急性リンパ性白血病に対する同種造血細胞移植後のブリナツモマブによる維持療法の安全性および有効性に関する多施設共同非盲検無対照試験：第 I-II 相試験 (JPLSG-SCT-ALL-BLIN21)		
研究代表/責任医師		国立成育医療研究センター 小児がんセンター 坂口 大俊		
変更審査受付		2024年5月22日		
審査参加状況		(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者		なし		
審査	施設情報・責任医師等の変更、関係企業等の追加等に伴う実施計画、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画等の変更、並びに医薬品添付文書(デカドロンエリキシル)追加について審議され、当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。			
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等			

3. 定期報告（5件）

定期1		
整理番号	C2018-017	
研究課題名	International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010 A randomized Phase III Study Conducted by the Resistant Disease Committee of the International BFM Study Group <IntReALL SR 2010> 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第 III 相国際共同臨床研究 (IntReALL SR 2010)	
研究代表/責任医師	三重大学医学部附属病院 豊田 秀実	
定期報告受付	2024年4月18日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

定期2		
整理番号	C2018-020	
研究課題名	再発・治療抵抗性リンパ芽球性リンパ腫 StageIII/IVに対する DexICE 治療の有効性及び安全性を検証する多施設共同第II相臨床試験 (ALB-R13)	
研究代表/責任医師	山形大学病院 三井 哲夫	
定期報告受付	2024年4月18日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

定期3		
整理番号	C2018-024	
研究課題名	Asia-wide, multicenter open-label, phase II non-randomised study involving children with Down syndrome under 21 year-old with newly diagnosed, treatment naive acute lymphoblastic leukemia アジア広域における 21 歳未満のダウン症候群小児患者の未治療の急性リンパ性白血病についての多施設共同非盲検非無作為化第二相試験 (DS-ALL 2016)	
研究代表/責任医師	鹿児島大学病院 岡本 康裕	
定期報告受付	2024年4月17日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	当該研究の実施状況（対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価）について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

定期4		
整理番号	C2018-202	

研究課題名	免疫抑制患者に対する 13 価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較－二重盲検無作為化比較試験－ (CPI-STUDY)		
研究代表/責任医師	三重病院 丸山 貴也		
定期報告受付	2024年4月17日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、最終データの収集終了 (2024年2月) が最終観察予定から1年を越えたため、総括報告は収集終了から1年以内として現在解析中とのこと、他も状況も含め特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出予定とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

定期5			
整理番号	C2021-004		
研究課題名	再発難治 CD19 陽性 B 細胞性急性リンパ性白血病に対する同種造血細胞移植後のブリナツモマブによる維持療法の安全性および有効性に関する多施設共同非盲検無対照試験：第 I-II 相試験 (JPLSG-SCT-ALL-BLIN21)		
研究代表/責任医師	国立成育医療研究センター 小児がんセンター 坂口 大俊		
定期報告受付	2024年4月18日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、特に問題ないことが確認された。利益相反は管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

II. 報告

1. 以下の実施計画事項軽微変更報告 10 件について報告した。

整理番号	研究課題名	研究代表/責任医師	通知日	変更事項
1 C2018-019	小児の再発・難治性未分化大細胞リンパ腫に対する骨髄非破壊的前処置を用いた同種造血幹細胞移植の有効性と安全性を評価する多施設共同非盲検無対照試験 (JPLSG-ALCL-RIC18)	深野玲司	2024/4/18	研究代表医師の問い合わせ先、管理者名
2 C2019-004	再発濾胞性リンパ腫に対する obinutuzumab+bendamustine 併用の第 II 相試験 (HMCSG-GB-RRFL)	永井宏和	2024/4/23	管理者名
3 C2019-007	PD-L1 発現 50%未満高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ+ペメトレキセド療法の第 2 相試験 (CJLSG1901)	小暮啓人	2024/5/9	管理者名
4 C2020-001	高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第 2 相試験 (CJLSG1902)	井谷英敏	2024/5/9	管理者名
5 C2020-005	BPA 治療による血行動態改善後の CTEPH 患者における心肺運動負荷試験時ピーク心係数に及ぼすリオシグアトの効果～多施設共同二重盲検ランダム化比較試験 (Riociguat-CTEPH)	下川原裕人	2024/5/9	管理者名

整理番号	研究課題名	研究代表/ 責任医師	通知日	変更事項
6 C2020-007	高リスク神経芽腫に対する化学療法の追加及び予後不良群に対する KIR リガンド不一致同種臍帯血移植による層別化治療の多施設共同前向き臨床試験 (JCCG-JN-H-20)	高橋義行	2024/4/23	管理者名
7 C2020-010	全身状態不良 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌患者に対する初回化学療法としてのオシメルチニブ単剤療法の第 II 相試験 (TORG-Osimertinib-NSCLC)	猶木克彦	2024/5/9	管理者名
8 C2018-012	一過性骨髄異常増殖症 (TAM) に対する化学療法による標準治療法の確立を目指した第 2 相臨床試験 (JPLSG-TAM-18)	村松秀城	2024/5/14	管理者名
9 C2019-006	慢性期慢性骨髄性白血病患者に対するボナチニブ維持療法後のチロシンキナーゼ阻害薬再中断試験 (JALSG-CML-RE-STOP219)	入山規良	2024/5/14	管理者名
10 C2020-203	重症鶏卵アレルギーに対する経皮免疫療法の有効性と安全性に関する研究 (鶏卵 EPIT)	岩井郁子	2024/5/21	管理者名、管理者許可の有無

Ⅲ. その他

- ・次回以降の開催予定日について説明

以上

文責：NMC 臨床研究審査委員会事務局